

小規模多機能型居宅介護まこと

グループホームまこと

運営推進会議 議事録

令和6年7月17日（水）

14時～15時

小規模多機能型居宅介護まこと 2階

司会 柴田砂奈江(小規模多機能型居宅介護まこと管理者)

鹿野英一(GHまこと管理者)

書記 工藤 未紗喜(GHまこと管理者)

参加者

- ・工藤 陽介様(東部北地域包括支援センター)

1 挨拶

2 運営推進介護とは、

地域密着型サービス事業所に設置・開催が義務付けられ、利用者、利用者家族、地域住民の代表者、市町村職員または地域包括支援センター職員等で構成され、事業所ごとに自ら設置するものです。この会議において、事業所が行っているサービス内容等を報告し、地域に開かれたサービスをすることで、事業運営の透明性の確保やサービスの質の向上、地域との連携及び交流の確保等を努めることを目的としています。

3 事業運営報告

- ・ 5・6月のサービス利用状況 (小規模・グループホーム)
- ・ まことでのサービス内容、行事等 (小規模・グループホーム)
- ・ 利用者ご家族様からの声
- ・ 5月6月の事故報告について
- ・ 地域包括支援センター様からの声

4 質疑応答(意見交流)

- ・グループホームまことより

5 その他

- ・ 小規模多機能、グループホームより
- ・ 町内会活動、地域交流への参加について
- ・ 今後の活動等

(2) 事業運営報告

■ 5～6月の介護度別サービス利用状況

(5月31日・6月30日付)

要介護	5月 小規模	6月 小規模	5月 グループホーム	6月 グループホーム
要支援1	1名	1名		
要支援2	1名	1名	0名	0名
要介護1	11名	10名	1名	1名
要介護2	10名	9名	7名	7名
要介護3	1名	3名	6名	6名
要介護4	2名	2名	2名	2名
要介護5	0名	0名	1名	1名
計	26名	26名	17名	17名

柴田「小規模まことは利用定員29名中、5月28名で稼働しています。内訳は要介護2の方が11名とボリュームゾーンとなっています。その他、4、5が少なく、4が2名、5が0名です。6月は30日解約が1名ございました。この方、口唇申請の際、要介護2から要介護4に切り替わっておりまして、且つ、その期間サーーチが下がって、熱が9℃台出ていまして、緊急入院に入っていました。その後、在宅酸素があったり、入院期間中に自尿が出なくなってしまう、バルーンカテーテルが入っていたりなど、医療行為が重なってしまい、なかなか住宅型でサポートしていくのが難しいと病院側との話し合いで決まりまして、今は現時点では看多機の方に事業所変更となりまして、要介護4の状態のまま移行しております。現時点では27名、8月に要介護5の方が入ってくるので、今度は28名となります。ただ、今はアシストが1件空いているので、アシストに入れる肩を今は探しています。」

工藤「アシストは介護度は自立で、小規模を使いながらでしたっけ？」

柴田「今方向転換を考えていて、重度の方でもいいかなと。特浴はないので、特浴が必要になるレベルは難しいんですけど、ある程度の身体的介護、オムツ交換から清拭からなど、住宅型でも一部屋二部屋までは確保しても良いかなと思いつながら募集をかけています。基本的には食介が必要な場合は住宅型支援が難しいので、食事の時間は小多機の通いサービスを使ってもらって。1Fで食事だとか身

体介護全て行って、寝る時はご自宅に戻って頂いてという形で重度の方のお引き受けを使用と思っています。基本的にご家族様送迎であれば朝の6時から夜9時まで通いサービスを提供しているのです。」

工藤「朝の6時から？」

柴田「ちゃんと今でも来る方がいるんですよ。」

工藤「凄いですね。」

柴田「どなたかいらっしゃいましたら。」

鹿野「グループホームまことは5月は18名のところ17名となっております。6月に入って、1名新しい方が入って18名となったんですけど。5月の末にこの方も酸素が必要になってグループホームでは対応が出来なくなって、施設を探していたんですけど、施設が決まりまして、転居となりまして17名で。6月も17名となっております。今月の23日に新しい方が入居される予定です。」

■ 小規模まことでのサービス内容・行事等

- ・ 3月 1日(金) 開設記念日
- ・ 3月 8日(金) 昼食作り～五目御飯・鯖の塩焼き
キュウリの叩き～
- ・ 3月 10日(日) 昼食作り～煮込みうどん・フルーツポンチ～
おやつ作り～干し芋蒸しパン～
- ・ 3月 14日(木) 避難訓練
- ・ 3月 18日(月) 春彼岸～牡丹餅づくり～
- ・ 4月 4日(木) 昼食作り～お好み焼き・芋の塩煮と塩辛
野菜スープ～
- ・ 4月 7日(日) 訪問美容
- ・ 4月 8日(月) 工作レク～桜のガーランド～
- ・ 4月 18日(木) おやつ作り～いちご大福～
- ・ 4月 26日(金) 昼食作り～チャーハン・手作り餃子・
中華スープ～

柴田「定例の工作レクを5月2日と5日に兜づくりという事で、端午の節句に合わせて工作レクを行っています。その他、5月14日、18日二日間にかけてお花見レクを開催しております。6月に入りまして、調理員が2週間ほどアメリカに行ってしまう。娘さんにロサンゼルスにいるから行ってくるわと言って、その間の食事作りが大変で。」

工藤「レクにしたら？」

柴田「そうなんです。それは皆で作っちゃえって。」

工藤「2週間は長いですね。」

柴田「長かったですね。昼食レクで色んなパンの食べ比べ、ただの総菜パンなんですけど。それを一口分くらいにカットして、皆好きなパンを食べて。手作りまでは行けなかったの。職員が専属で調理員として入って、食事提供したり、6月前半はそんな形で行っていました。6月10日にまこと運動会、18日19日には釧路の街並みドライブという事でMOOと岸壁の散策に行きまして、各々自分達で好きな物を買って食べて帰ってくる。利用者さんの中にはご家族様用にさんまんまとかをお土産にとかで楽しまれていました。その他、6月20日昼食レクはピーマンの肉詰めを皆で行っています。今は現時点で避難訓練を4か月に1回のペースで年3回行っています。今年2日目の避難訓練を6月25日に実施しております。」

グループホームまことでのサービス内容・行事など

カラオケ 1階 毎週木曜日 2階 毎週日曜日 水曜日

- ・ 5月 8日(水) お花見ドライブ 別保公園 (2階)
- ・ 5月 12日(日) お花見ドライブ 別保公園 (1階)
- ・ 5月 18日(土) リビング装飾作り (1階)
- ・ 5月 21日(火) おやつ作り かぼちゃ団子 いも団子
- ・ 5月 22日(水) 昼食カレー作り プランター花植え
- ・ 6月 5日(水) 創作舞踊鑑賞 ボランティア
- ・ 6月 11日(火) ふき皮むき
- ・ 6月 14日(金) おやつ作り フルーツポンチ スイートポテト

まこと喫茶

鹿野「1階が毎週木曜日、2階が毎週水曜日、日曜日にカラオケをしています。5月8日、2階でお花見ドライブ。柳町公園と別保公園に行っています。5月12日、1階でお花見に行っているのですが、日曜日で桜祭りをやっけていまして、すごく車が並んでいまして入る事が出来ず通り過ぎまして、帰りにソフトクリームを食べて帰りました。5月18日は装飾作り。いつも季節毎にリビングの装飾を変えているのですが、夏バージョンの装飾を作りました。あと21日、カボチャ団子といも団子を作っています。あと、5月22日なんですけど、好きな方は外でプランターに花植え、興味がない方は施設内でカレーの材料を皮剥いたり、サラダを作ったりして昼食作りをしました。6月なんですけど、6月5日、職員の知り合いの創作舞踊のグループがありまして、ボランティアの来て頂いて踊りを見させて頂きました。

6月11日、毎年恒例なんですけど音別のふき祭りでをふき持ってきてくれる職員がいて、茹でて皮を剥いてもらいました。6月14日、昼からまこと喫茶を開催しました。その為のおやつを午前中に作っています。1階でフルーツポンチ、2階ではスイートポテトを作り、まこと喫茶ではクリームソーダとかコーヒー、紅茶などを自分の好きな物を好きなだけ食べて、飲んで頂きました。」

工藤「ちょっといいですか？リビング装飾作りって誰が作るんですか？毎年、しまっていたものを出すんですか？」

鹿野「毎年折り紙とか切ったり張り付けたりとか。職員が主導して、利用者と一緒に。」

工藤「そうなんです。わかりました。ボランティア活用できないのかなって思ったんですけど。当てがあるわけじゃないんですけど、大変だろうなって。好きな人も居るんじゃないかな。」

柴田「なかなかデイサービスレベルだったら制作物をやれるんですけど。出来てもらえればわかるんですけど、うちも上手な利用者さんがいらっしやらない。」

工藤「可愛いですね。」

鹿野「グループホームも2、3人ですね。好きな方がいらっしやって。」

工藤「飾るの結構大変ですね。」

■ 利用者ご家族からの声

小規模

* 急遽引越すことになり、急ぎでGHを探してほしいと無茶なお願いにも関わらず、対応して下さい、感謝しています。何とか間に合い、安心しました。今までお世話になりました。

(T様 ご家族より)

柴田「6月通所日にご自宅にお迎えに上がった時に、ご家族様の体調が悪そうで。その方もヘルパーを受けていたり、支えている側の娘様も運転は出来るんですけど、お体が弱くて、訪問介護を使っていらっしゃる方で。体調が悪そうで、もしお一人で行けなかったら救急車が必要なんじゃないですかと言って、本人が目の前で救急車の要請をして、行ってみたら心筋梗塞でそのまま入院。お母様が入院されたことがわからなくて、通所のスタイルで来てしまったので。急遽入院が必要になって、釧路市内に身寄りが娘さんしかいない、家にも入れない、泊りの準備もしていない。」

工藤「お母さんと娘さんの二人暮らし？」

柴田「そうですね。病院さんと話をし、事情を説明して。本人まだ会話ができるレベルなので、ご自宅の鍵などはお借りして、事業所の方からご本人連れて1ヵ月くらいの荷物を持って来る。幸いのこと娘さんそんなに障害が残らなかったんですけど、目に障害がきていて、見えづらくなって運転が出来なくなったり、大体入院が1ヵ

月くらい。今は退院したんですけど、ただ娘さんもお母様と二人だけで生活ができるかどうかわからなくて、急遽息子さんが東京からケアをしに釧路に来る予定です。一旦、お母様はご自宅に帰って頂いて、今後の方向性に家族全員と話し合いをさせてもらう。娘さんはそのままご自宅でお母様の支援ができないのであれば、お母様の今後について話し合いをしなければならないので。当初は8月2日から恵庭で別の手術を予定してまして、その間3週間お預かりする予定だったんですけど、別の病気で1ヵ月前倒しでロングショートを使うようになった件で。ただご心配して頂いているので、二日に1回は事業所に電話がきて、直接ご本人と話して頂いて。ご本人様も認知症はあるんですけど、重度ではないので。なんとなく事態は理解できているかな。今は退院されていますけど、そのことについてお知らせしてないです。」

工藤「今は娘さん一人で家に居るんですか？」

柴田「今は一人でいらっしゃいますね。」

工藤「お母様はおいくつですか？」

柴田「94歳です。」

工藤「そっかー、そしたら娘さんもそこそこ70代くらい。」

柴田「お母様が体格が良くて、娘さんが小柄で。今不自由で目が見えづらくなっていて、ちょっと難しいかな。」

工藤「お母様は長生きされる方だったんですね。」

柴田「そうなんですよね。いつも運推に来て頂いていた方でして。」

工藤「ちょうどショートが空いてたんですか？」

柴田「そうなんですよ。お盆の時期だったら予約が満杯だったんですけど。時期が6月だったので、連泊が空いている状態だったので。」

* 家でも暴れることが多くなってきているので、大変です。皆さんにもご迷惑をかけているんじゃないかと思っています。

(Y様 ご家族より)

柴田「前回の運営推進会議でもご説明させて頂いたんですけど、Y様のご家族様。こちらの方はご夫婦で生活されているんですけど、ご主人がアルツハイマー型認知症。お医者さんからは筋肉過多って言われるくらい筋肉質なお父さんで、介護拒否で暴行がある方で、私たちに噛みついたり、飛ばされたりと漫画ちっくで。その方、お母さんに手を挙げて、肋骨にヒビが入ったりして。今、かかりつけ病院と先生とご相談して薬調整を在宅でかけている状態でした。お母さん難しくなってきたという現状だったんですけど、お父様の年金額でお母様が生活されている方で、お父様が施設へ入ると自分の生活費がなくなるということで、なかなか施設へ結び付けてあげられなかったっていう段階の状況でした。まことに来ても、お風呂がどうしてもだめで、拒否が強くて。それ以外のことは健脚なので歩きまわられても平気で、お風呂と薬だけは難しく。先日、かかりつけ医さんの方で直接主治医の先生とご相談させて頂いて、今のお母様から聞いているご自宅の様子、まこと支援内容、ご本人の

様子を直接ご相談させて頂いて。お母様もお父様の様子を1週間分ノートに書き出して、それを一緒に持って行って、主治医の先生に相談して、今の状態で薬調整はするけど、精神科に相談するレベルではない。なので在宅で薬調整していきましようかと話し合いが始まり、まず2週間は様子を見ましよう。2週間の間に薬剤の影響で体が伸びなくなったり、歩行能力も落ちていき、唾液が溜まってくるようになり、食事量水分量がちょっと減ってきている。ちょっとボーっとしてきたかな、動作緩慢かなっててというような感じで2週間ほど経たれていて、2週間目くらいに微熱が始まってきたんです。もしかしたら肺炎かもしれないね言っていて、二日後に受診があるから様子を見ましようと話をしてた受診日に8℃9℃代まで上がり、急遽発熱外来に受診をし、その後主治医の先生のものにも話をし、結局肺炎疑いということで、今の現時点で入院されています。当初2週間の予定だったんですけど、回復の見込みがなくて、今は食事がとれていない状況で、点滴栄養が日に2回いつている状態で。全体像が変わってきてしまつてというところで。お母様はどうしたら良いのかわからない、どれくらいで治療が終わるのか見えてきていないというところで今日までの状況です。今後、お父さんの状況がある程度安定して、あとお母様がどこで支えていきたいのか話し合いがこれからなので、今は進行形話でした。お母さんの方はお父さんの暴力から解放されてちょっとほつとしている半分、今まで状態が違うので、すごく心配されている。葛藤されている。」

工藤「暴力の頻度はどれくらい？」

柴田「大小に関わらず毎日ですね。他にもお母様がちょっと目を離したら家を出ていなくなつてしまうので、警察のお世話も日常茶飯事。」

工藤「前頭側頭ですか？」

柴田「いやアルツハイマーですね。」

工藤「へえー。血管性とかはないですか？」

柴田「ないんですね。純粹のアルツハイマーなんですけど、薬調整が入る前の歩き方も突進傾向だったりするので、混合型なのかな一つて。」

工藤「そうなんですね。それで誤嚥して肺炎になつちやつたのかな。」

柴田「そう思いますね、唾液量が多くなつてきたので、本人も気にしてちり紙じゃなく、手で。」

工藤「ティッシュの山になってしまいますね。お母さんは鬱にならなかつたですか？」

柴田「お母さんとの話し合いをさせてもらつて、お母さんも良い時の姿で強烈に残つているので、今のご主人の様子を受け入れられなくて。子供を叱責するように言うんですね。すごい切り替わるんです。お父さんダメでしょと言うと怒つてしまう。その言い方についてももうちょっとこうしていきませんかと話させてもらつているんですけど、その場では理解示してもらうんですけど、その時になったらお母さんがカチンときてしまう。ご夫婦なので感情がどちらも出やすいのかな。」

工藤「小規模でのお父さんは落ち着いているんですか？」

柴田「いや、常にお母さんの車が来ないかまず玄関で待つてますね。白い車が見えたら

あー、と声を出しています。」

工藤「帰りたいと言っているんですね。感情のコントロールは出来ている？」

柴田「お風呂、薬、トイレでのパンツを脱がせる、この三つが抵抗あるんですね。」

工藤「じゃあ、意に沿わない時はカチンとくるんですね。わかりました、難しいですね。」

グループホーム

*特にありません

■ 5月6月の事故報告について

■	小規模	小規模	G H	G H
	5月	6月	5月	6月
アクシデント	0件	0件	1件	0件
インシデント	5件	6件	2件	6件
ヒヤリハット	3件	3件	0件	0件

アクシデント

車椅子移動時、転倒。5月21日 事故報告書 市役所提出済み

柴田「5月のインシデントについては通知書の返却忘れ、手すりに腰を強打、禁止食の提供。エビアレルギー方にエビフライを提供してしまった。エビフライを提供してしまって気づいて下げたのがヒヤリハットで一件。もう一件はかっぱえびせんを提供してしまった。」

工藤「かっぱえびせんはダメなんですね。」

柴田「ダメなんですね。ということで同じ方でヒヤリハットとインシデントで2件上がっております。その他にはヒヤリハットでは薬のセット忘れ、薬セット場所間違いで2件発生しております。6月のインシデントは6件、ヒヤリハット3件発生しております。インシデント内容は薬の落下、ベッドからの転落、貼付薬の貼付場所間違い毎日、家族様の指定で左肩と左胸に毎日交互に貼っていたんですけど、右胸と左胸に貼ってしまったんです。」

工藤「大したことないような。」

柴田「ケアプランにも記載されているので、インシデントなんです。手術痕があるからそこにかぶせてほしくないという事です。これも事故報告対象になってしまいました。他に、転倒が2件、ヒヤリハットも5月同様薬の場所間違い、椅子からの転落未遂。職員がなんとか助けているので転落まで至っていません。その他、視覚障害がある利用者が浴室でバランスを崩したのを、一で介助に入っているのですが、支えに入ったんですけど、視覚障害の人に対しての支援が足りなかったのではないかとこのところ反省が上がってきています。」

鹿野「5月はアクシデント1件、インシデント2件です。アクシデントの方はリクライニン

グ式の車椅子なんですけど、テーブルから動かす際に利用者が体が安定してなく、この利用者は傾きがあるんですね。左後ろ側に曲げて移動したときにバランスが崩れたというかそのまま前の方に落ちてしまった。」

工藤「重心がずれていたんですかね。曲がる方を逆にしようとかならなかったんですか。」

鹿野「前の方に倒れてしまって側頭部顔面を打って、一応救急搬送して、結果は何ともなかった。そのまま病院から帰って来たんですけど、5月11日に市役所へ事故報告をしています。インシデントですが、転倒と異食がありました。金属のクリップを職員の記録する物に挟めていて、取ろうとする方で、たまたま口の中に入れてしまっ

て。」

工藤「綺麗なお菓子に見えたのかな。」

鹿野「かちゃかちゃやっているのにも関わらず、トイレ誘導をして、その頃義歯が緩くて、義歯が外れていると思っていて。最終的に見たらクリップを食べていた。その時点で確認していなかったんですね。」

工藤「そうなんですね。床に落ちている事もありますもんね。」

鹿野「手がすぐに伸びるので、近くに物は置かない事になりました。6月はインシデントが6件です。転倒2件、座り込み、薬のセットミス、異食がありました。ベッドからのずり落ちもありました。異食の方が、今までなかったんですけど、せんべいの袋を開けて渡して、袋ごと食べていたんです。くちやくちやしてて、ゴミないなと思って口内を確認したら食べていたということです。」

工藤「心奪われるような包み紙があるのだろうか。」

鹿野「どうなんですかね。自分で出せなくてそのまま食べちゃったのか。」

柴田「持ったものは全て食べられると思ったのかもしれないですかね。」

鹿野「半分割って残りはそのまんま老いといたんですね。」

柴田「皿で提供しましょうですね。」

地域包括支援センター様からの声

工藤様「うちの元センター長だった伊藤さんが民間とか趣味活動の一環で立ち上げた活動があつて、先週に道新に記事があつてうちのセンターの記事にもちょっと載せたんですけど、出来るようになって。6個見本品を頂いて、良かったら見本で一つ。」

柴田「入りたい。いいですか？」

工藤様「手を入れて、いろんな物を触ることで拘束を少しでもなくして。手が落ち着かない人に。ちょっと女の人の用の物になってしまうんですけど、いろんなものあつて、マスコットも本人が興味を惹くようなものがあつて。今回はここではないんですけど、シマエナガがついているものなんですけど。野球チームが好きな方にはそのイメージカラーで作っても良いだろうし。勝手にうちのセンターで二つの事業所で試してもらつて。うちは9個の事業所があるので、やよいさんとまことさんは一緒にしてもらつて。ちょっと行き来があることを信じて。説明書はたくさん資料がある内の一部を抜粋ですね。一番上は伊藤さんが作ったやつ、あとは見本でひっばってきたものなんですけど、参考で見

て頂いて、次の認知症を支える連携会議でも、資料を持って来なかったんですけど、ここで全事業所に渡そうとしていて。これは早いもん勝ちで、持ってきたから。」

柴田「ありがとうございます。これは全部手作りなんですか。」

工藤様「手作りなんですから。伊藤さんも出来るようになったわよって、可愛いですよ。」

柴田「凄いです。細かいです。」

工藤様「この辺が取れそうなんですけど。使ってみて改善点があればぜひ。」

柴田「触りたくくなりますもんね。」

工藤様「夏場でも手先冷たい方でも割と良いと思います。こういうのが取れそうな気がするんですけどね。まだアンケートも出来ていなくて、一応、次の11月の連携会議には皆さんに活用してもらった意見交換が出来たらなど。それを伊藤さんとフィードバックをしようかと思っています。これを使った良い例を意見交換が出来たらと思っています。」

柴田「(ビーズの部分)これが色付きの糸だったら最高。」

工藤様「ビーズが取れたらどうしようってなりますよね。」

鹿野「この前ちぎってしまった方もいらっしゃいましたね。」

工藤様「触り続けたらとれちゃいそうですもんね。」

柴田「可愛いと触り続けちゃいますもんね。うちの弄便お母さんにつけてやりたい。」

工藤様「オムツ交換中にでも。あとは、全員集合の写真が載ったんですけど。」

鹿野「先月頂いてますね。」

工藤様「その他にもおでパスの資料が新しくなって。ここの文章が若干変わっていました。けど、うちのエリア外なので。あとはお寺食堂の告知です。」

柴田「お寺食堂は誰でも行ってもいいんですか？」

工藤様「誰でも行けます。予約制じゃないので混むとは。」

柴田「今回のメニューはカレーライスって記載されている。」

工藤様「後は春雨サラダとフルーツ白玉。」

柴田「どこにあるんだろう。」

工藤様「大成寺さんと隣だったかな。」

鹿野「本行寺って書いていますね。」

柴田「けっこう集まっているんですかね。」

工藤様「凄い人数ですよ。」

柴田「覗いてみたいなって。」

工藤様「ボランティアさんの数も充実していて、市内の食堂の中で一番大きいんじゃないかな。何百人規模じゃないかな。」

柴田「えー、すごいですね。」

工藤様「100人じゃないの。」

柴田「見てみたい気がする。これって不定期開催ですか？」

工藤様「2ヵ月に1回で本行寺さんと浄光寺さんと時期によって開催地を変えています。大体奇数月決まりで、週は20日前後。」

鹿野「日曜日やるのか。法事とかやらないのかな。」

工藤様「お寺の分家さんのお母さんも手伝ってくれたりとか、色々社協さんが来て、包括行って。どっかの企業さんもいます。生命保険系の。」

柴田「利用者さんを連れてっていいのか。」

工藤様「いいですよ。結構人数いるので、不穏にならないかしら。お寺の方が落ち着くのかな。懐かしい感じなのかな。」

鹿野「お墓参りみたいなの。」

工藤様「お寺は嫌いじゃないですよ。」

柴田「好きでしょうね、皆さん。般若信教を流しているだけでも喜ぶますね。」

工藤様「そうなんです。」

4 質疑応答 または 意見交流

・グループホームまことより

鹿野「生活保護のことでご意見というか、感想と言うか聞かせて頂きたいんですけど。

以前は生活保護の申請をしてすんなり通ったんですけど、今年に入って2件生活保護の方がいらっしゃったんですけど。」

工藤様「新規申請をしたんですか？」

鹿野「生保の方の入居の方で。」

柴田「元々生保を受給していた。」

鹿野「そうです。以前はなんともなかったのですが、話を進めていったんですが、社会保護課の方から利用料が高いからだめだって、生保の限度をはみ出すので。今まで何ともなかったのに何ですか？って。家族の方から持ち出しが多い、お金を持ち出しているのが多いので、そういう苦情が何件も入っているとされて。」

工藤様「あっちこっちの他法人からも同じような、生保の基準額は決まっているんだけど。結局、食費とか光熱費とかの値上がりに、生保が反映されていないのか。家族持ち出しが多くって、生保がOKな施設があったんだけど、いざ値上がりしてます、それでも良ければ話で入居だったり、入っている途中で値上がりしたことで耐えきれない人が出てきているという事で、生保の方で最初はいいいけど、その後の余力があるかどうかや家族に頼ることができるのかというところで厳しくなっているのかな。」

鹿野「元々の金額が108,000円くらいなんですけど、それを越えても生活保護の方である程度見ててくれてたんですけど、それが、今回そういう事があって基準額に固定したということで、金額が高いという事できたんです。その内容もそういう金額の中で受け入れている施設もあります。市役所の方から例えば3食のところを2食にして。ご家族がお金はだめなんなので、生活保護費が足りないからって出すのはだめで、生活扶助の中から引いて、年金もそうなんですけど、108,000円で固定。」

工藤様「収入になっちゃうからかな。カットをしなきゃならないからかな。」

鹿野「物品は良いと。ある施設では2食にして1食は家族が持ち込んでいますよっていう

話を聞いて。これは市役所の口からは言えない。それを知っている包括の方もいらっしやいます。そういう風にやって入所しているって。今回2件目で、1件目のご家族はあきらめてしまって。僕も内容も知らなくて、聞かなかったんですけど。2件目の方も入れて頂きたいとのことで、市役所に問い合わせしたらそういう答えが出てきて。一応、マイナスにはなるんですけど、上の許可を取って、入居と運びになったんですね。」

工藤様「生保は一定以上出ないから施設が被るって言う事ですね。」

鹿野「そうなんです。それってどうなのかなって。」

工藤様「家賃分を生保オンリーの生保の家賃設定している施設とか、少し下げて設定しているところもあって。年金が上がったけど、生保が切られている方やギリギリだった方がちらちら出てきたとか、世知辛くなる一方で。サ高住でも元々2食の提供をしている所もあって、サ高住ではデイサービス通ったりするから、そちらで食べてくるけど、軽食でお金を下げしてくれないので、最初2食で、果物食べたりとか食費が浮くからそれでやり繰りしている利用者さんがいて、最低生活って感じですね。保証がどうなるのか。」

鹿野「今回のご家族の方、お金を出すのは構わないと言われたんですけど、市役所で止められてしまって。」

工藤様「市の方からダメだよ。収入になっちゃうよという事ですね。こっそりした時にばれたら大変ですもんね。」

鹿野「とりあえずは同じ物を提供しますが、食費を下げたっていう形で。」

工藤様「居室を下げるかなんかしないと。生保の方が入れない。グループホームさんによっては生保が受け入れられないというところもあって、それってどうなのだろうって。」

鹿野「うちの施設も僕も見解なんですけど、難しいのかなって感がしています。」

柴田「支えてあげたいけど、企業も営利団体なのでそれを被ってまでその方を入れなきゃならないかっていうと。」

工藤様「生保の基準の見直しを何年か1回。」

鹿野「恐らく家族さんがそうやって言ってくるということは、金額が低いから今の状況で上がらないのかって希望あつての苦情だから、それをこっちに跳ね返ってくるのは筋違いじゃないのかなって思うんです。」

工藤様「家族の持ち出しは2万とかですか。一般世帯と生保世帯の差額ってどれくらいですか？」

鹿野「ここの入居料に関しては夏なら4,000円弱なんです。冬場が暖房費を頂いているので1,000円弱マイナスですね。その他にオムツとかも購入されるので。家族さんは問題ないと言われているので。」

柴田「お金がないと年を取ってはいけないんですね。」

工藤様「世知辛い。」

柴田「こんごどうなるのか。」

工藤様「蓄積されて市に言っていけば。」

柴田「企業側も生保の方をお引き受けしませんよって、一般の人しか受け入れない、そしてたら生保の人たちの行く場所がなくなる。」

工藤様「サ高住無理やり入ってくんではないかな。」

柴田「どうなんだろうね。その時は社会援護はどうするんだろうって疑問に思いますね。私は鹿野と意見が違って、断っちゃいなさいって言ったんです。一般の人が良いじゃないか」

鹿野「今回のは問題にしたかったんです。だから入所を決めました。」

工藤様「グループホームの運営推進会議の包括側でも議事録って報告書にあがらないんですね。これって個々のグループホームさんの運営推進会議の議事録もある施設とない施設がありまして、報告書を頂ける施設と頂けない施設がありますね。一応、参加した会議の全部添付して置けるですけど、すごい膨大になるので。ちゃんと見ているのかって。でも包括には連絡会議があるから議題として認知症を支える連絡会議とかで切り込んでみるとか。包括が仕掛けている会議は高齢福祉担当の地区担当と保健士も居るんですよ。そっちで攻めるか。」

鹿野「ただ役所は縦割りだから。介護高齢課にいたとしても社会援護課にはいかないんですよ。」

工藤様「意外と介護高齢課と社会援護課は異動し合うので。問題意識を持っている職員さんが行けば。介護高齢課で課長補佐の方が社会援護課の地区担当になっていたりするので。一個一個の現場から声を上げていくしかないんですかね。」

柴田「例えば今回小規模やよいで小多規でのショートの使用方、生活保護受給で在宅で、宿泊費としては市から出てこない。家賃出ているから。だけど、状況によりけりでショートを使わなければならない場合が出た場合、利用者の持ち出しになっちゃう。その改善じゃないけど、身寄りのある方で申告しないで利用あるかもしれない。それで小規模やよいが市に申し立てをしているんですね。一回この議題、稟議上げて、本社のリーベの方に行って、承認下りたら市の方に申し立てすればいいだよ。」

工藤様「きっとたくさんそういう声が隠れていると思うんですよ。ショートの時も被らざる終えない。」

柴田「料金が2,500円じゃなくて価格帯を下げれば。」

鹿野「食費のみでとか。」

柴田「帳尻合わせを可能かどうか。」

工藤様「そうしちゃったら家賃が分が出なくなって、食費は病院の方は払ってもらえるけど。一か月泊まる事になったら出してくれるんだろうか。」

柴田「どうなんだろう。」

工藤様「泊まる事にならなと行けない事態になったらどうなるんだろう。居室料は自分で払っているじゃないかな。今ってかかるから。保護の人も払える人と払えない人も出てきそう。」

柴田「例えば今日も生活保護受給者の内縁の夫が来て、在宅酸素の為、看多規に行きまし

た。月中で行ったんですけど、これもうちもアシスト使っていたので家賃が発生しますよね。でも向こうもサ高住に入っているんで、家賃が発生して、看多規の登録もしているから看護師とかそっちも入っている。料金が11万前後で、うちは5万で。向こう払うからこっちは払えないって話を今日されました。それは話にならないですよという事で社会援護課に相談したら、まことの方で分割なりまけてくれないか相談してこいと言われたみたいで。なんか筋が違うなって、お門違いな事を言っているなって。」

工藤様「こっちは被るって見たいな感じがする。」

柴田「最近、社会援護課の感じが違うよね。」

鹿野「前は接点なかったんで。前はすんなりというか。理由がおかしいなど。」

工藤様「サ高住で生保の方はうーんっていうのが増えてきました。」

鹿野「一部だけだったらいんですけど。介護業界全体で考えたらおかしい。」

柴田「基準額は釧路市ですもんね。」

鹿野「調べたら自治体によって違う。」

柴田「入れたらいいけど、払ってもらえない事態になりかねない。払えなくなったら出すしかないし。」

工藤様「大手の民間程はじくようになっているかもしれないですね。生保や独居の方はだめだというところが増えていきますね。」

柴田「うちもそうなるかもしれないですね。」

5 その他

- ・今後の活動について

(小規模多機能)

5月

- ・お花見ドライブ
- ・端午の節句の兜工作
- ・昼食作り(定例 調理レクリエーション×2)

6月

- ・運動会
- ・Moo 散策と買い物レク
- ・昼食作り(定例 調理レクリエーション×3)
- ・自主避難訓練(26日)

柴田「7月はドライブレクと焼肉会を26日に予定しています。その他に定例の昼食作り、調理レクを3回程毎月行っております。8月も短い期間なので、もう一回焼肉やっちゃおうという事で、連チャンでやります。その他に花火会を予定しています。」

(グループホーム)

7月

- ・焼肉レク
- ・夏祭り
- ・ドライブ

8月

- ・花火大会
- ・ドライブ

鹿野「7月焼肉、夏祭りは終了しています。焼肉をやったんですけど、ご家族にご自由に15、6人来ました。」

柴田「いくら取ったの？」

鹿野「無料で。」

工藤様「無料だから来たんですね。」

鹿野「逆に頂き物を貰って、逆にお金がかかったんじゃないかなって。すごい好評で。」

柴田「風の流れて匂いがこっちまで来て。その時の私たちのご飯が。」

鹿野「8月なんですけど、花火レクとドライブを予定しています。」

柴田「あれだったら花火も合同でやったらいいのにね。去年、やった時に皆見てたもんね。」

工藤様「泊まっている方？」

柴田「そうです。通いを遅くして、ご家族が送迎できる方。」

工藤様「今日は夜花火やるからゆっくりめ。」

柴田「そうです。夕食をここで摂ってもらって。」

次回開催予定日 令和6年9月18日(水) 14時 小規模まこと 2階リビングにて開催